

開設年度		開講部局	
2010		共通教育	
科目名			
稲盛セミナーII			
英語科目名			
Inamori Seminar II			
前後期		履修期	開講区分
後期		2期	毎週
科目形態	単位数	大分類(科目)	中分類(分野)
講義	2	教養科目	人間教育科目
受講学部学科			
全			
担当教員		担当教員所属	
奥 健一郎		稲盛アカデミー	
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
099-285-8329		koku@eng.kagoshima-u.ac.jp	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
講義中に指示。			
共同担当教員			
吉田 健一 萩原 豪			
キーワード1		キーワード2	
社会的貢献意識		視野・判断力・探求能力	
授業概要(目的・内容・方法)			
<p>本講義では、「稲盛セミナーI」を土台として、ゲスト講師も招聘し、稲盛氏の実業家としての実績、物の考え方(フィロソフィー)を多角的に学ぶ事を目的とする。但し、本講義は「稲盛セミナーI」を受講している事が受講要件ではないので、本講義からの聴講も大いに歓迎する。</p> <p>受講者は、本講義を通じて、人生観・人間観・社会観・労働観などを幅広く学んで頂きたい。</p>			
学習目標			
<p>わが国は戦後目覚ましい成長を遂げ、世界経済の重要な役割を担うまでになった。しかしながら一方で、急速な経済発展の生んだ歪みによる道德の欠如は昨今特に社会生活を混乱させ、その影響は様々な痛ましい社会事件や、企業の破綻にまで広がっている。</p> <p>この現状が現代の教育にも打撃を与え、結果として国民の精神そのものが低迷し、出口の見えない状況が続いているといっても過言ではない。以上の観点から、このセミナーでは、社会人としての幅広い教養を身につけることはもちろん、人の生き方やその人生哲学なども学びとり、真に豊かな人生を送る意義を学ぶことを目的とする。</p>			
授業計画(15回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
1: はじめに(奥) 2: 稲盛哲学概論(奥) 3: 『生き方』に学ぶ-1(吉田) 4: ゲスト招聘予定(伊藤幸男先生)(奥) 5: 『生き方』に学ぶ-2(吉田) 6: 『生き方』に学ぶ-3(吉田) 7: 稲盛和夫と環境-1(萩原) 8: 稲盛和夫と環境-2(萩原) ゲスト招聘予定(森孝之先生) 9: 稲盛和夫と環境-3(萩原) 10: 『生き方』に学ぶ-4(吉田) 11: 稲盛和夫と社会貢献-1(萩原) 12: 稲盛和夫と社会貢献-2(萩原) 13: 稲盛和夫と社会貢献-3(萩原) 14: 稲盛和夫と社会貢献-4(萩原)			

受講要件	成績の評価基準
特になし。出来れば「稲盛セミナー1」を受講している事が望ましい。	毎回のフィードバックシート及びレポートで総合的に評価。フィードバックシート60%、レポート40%の配分で評価する。
教科書	参考書
特に指定しない。参考文献を随時紹介する。	稲盛和夫・梅原猛『人類を救う哲学』PHP研究所・2008年 稲盛和夫『生き方 - 人間として一番大切な事』サンマーク出版・2004年 稲盛和夫『働き方 - 「なぜ働くのか」「いかに働くのか」』三笠書房・2009年 稲盛和夫講義集 鹿児島大学稲盛アカデミー（稲盛アカデミー叢書I）・2010年 稲盛和夫・梅原猛『人類を救う哲学』PHP研究所・2008年
その他	